



## 2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月5日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション 上場取引所 東 名  
コード番号 2734 URL https://www.sala.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO (氏名) 神野 吾郎  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー (氏名) 市川 伸一 TEL 0532-51-1182  
四半期報告書提出予定日 2024年4月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第1四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	59,166	△7.8	2,541	△15.4	2,900	0.3	1,937	△0.7
2023年11月期第1四半期	64,154	9.7	3,004	△0.6	2,892	△10.2	1,951	△13.0

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期2,516百万円 (27.2%) 2023年11月期第1四半期1,977百万円 (△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	30.30	—
2023年11月期第1四半期	30.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	193,066	80,297	40.8
2023年11月期	189,267	78,645	40.8

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 78,784百万円 2023年11月期 77,179百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	127,000	0.8	5,600	11.5	5,900	3.9	4,100	△13.7	64.12
通期	255,000	5.3	7,300	20.0	8,200	4.2	5,600	△8.2	87.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期 1 Q	66,041,147株	2023年11月期	66,041,147株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	2,094,088株	2023年11月期	2,093,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期 1 Q	63,947,257株	2023年11月期 1 Q	63,801,715株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進んだものの、長期化するウクライナ情勢不安や円安等の影響により、物価が上昇し家計を圧迫するなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、サーラグループは、2023年11月期を初年度とする第5次中期経営計画における重点戦略『ライフクリエイティブ事業ユニット\*でのサービス・事業開発と事業形態の変革』、『期待を上回る「顧客体験」を通じてブランド価値を高める』、『グループ内外との「共創」による事業創造』、『既存事業分野の収益力向上』、『「自ら考え、行動する」人が集う組織風土への変革』への取組みに注力しました。2年目となる当連結会計年度は、カーボンニュートラル推進につながる新たな成長分野への積極的な投資やDX（デジタルトランスフォーメーション）による事業構造の抜本的な改革に引き続き取り組み、同計画の達成に向けて各施策を積極的に推進しています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、エネルギー&ソリューションズ事業のサーラエナジー株式会社は、デジタル技術の活用により従来のガス種（都市ガス、LPガス）ごとに分かれた業務の変革を図り、お客さま一人ひとりに合わせた質の高いサービスを提供するため基幹システムの再構築を進めました。

新たな成長投資として同社が静岡県浜松市内に建設を進める系統用蓄電池の設置にあたり、当社はグリーンファイナンス・フレームワークに基づき、グリーンローンによる資金調達を実施しました。

セグメントの枠を越えた連携として、暮らしの事業領域において中古住宅流通事業の展開に取り組むとともに、BtoBのお客さまに向けてカーボンニュートラル診断を通じたソリューション提案に着手しました。

まちのにぎわいづくりに向けてサーラグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業につきましては、2021年11月に開業した「emCAMPUS（エムキャンパス）EAST」に続き、2024年5月に竣工を予定する「emCAMPUS（エムキャンパス）WEST」の開業準備を進めました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業が大幅な減収となったことから、売上高は前年同期比7.8%減の59,166百万円となりました。利益面は、エネルギー&ソリューションズ事業、カーライフサポート事業及びアニマルヘルスケア事業が減益となったため、営業利益は前年同期比15.4%減の2,541百万円となりました。一方、前年同期は営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間は同評価益183百万円を計上したことにより、経常利益は前年同期比0.3%増の2,900百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比0.7%減の1,937百万円となりました。

※「ライフクリエイティブ事業ユニット」エネルギー事業以外の暮らしの事業領域を指します。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### エネルギー&ソリューションズ事業

売上高33,682百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益2,415百万円（前年同期比15.4%減）

原料費調整制度に基づき都市ガスの販売価格を下方調整したことに加え、家庭用、業務用を中心に都市ガスの販売量が減少したため、売上高は減少しました。利益面は、都市ガス販売量の減少に加え、バイオマス発電所において機器の故障が発生し、約1ヵ月間の出力調整により売電量が減少したため、営業利益は減少しました。

#### エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高6,828百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益625百万円（前年同期比10.6%増）

土木部門及びメンテナンス部門は堅調に推移したものの、設備工事部門及び建築部門の完成工事が減少したため、売上高は減少しました。利益面は、土木部門及び設備工事部門において利益率が高い完成工事が多かったことに加え、各部門において工程管理を徹底し売上原価の低減に努めたことから、営業利益は増加しました。

#### ハウジング事業

売上高7,239百万円（前年同期比13.7%増）、営業損失190百万円（前年同期は営業損失342百万円）

住宅販売部門は受注が回復したことにより、注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数は増加しました。一方、住宅部資材加工・販売部門は浜松・豊橋エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により、取引先からの受注が減少しました。以上により、セグメント全体では住宅販売棟数の増加が寄与し、売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

#### カーライフサポート事業

売上高3,718百万円(前年同期比13.5%減)、営業損失191百万円(前年同期は営業損失86百万円)

フォルクスワーゲンは販売価格改定の影響により、また、アウディは主力車種の供給不足のためそれぞれ受注が伸び悩んだことから、新車販売台数は減少しました。さらに、低調な新車販売に伴い、下取り車が減少したことから中古車販売台数は減少しました。以上により、売上高は減少し、営業損失を計上しました。

#### アニマルヘルスケア事業

売上高6,183百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益22百万円(前年同期比80.0%減)

畜産部門は飼料価格高騰の影響が緩和したことから、動物用医薬品等の受注は堅調に推移しました。また、ペット関連部門において動物用医薬品等の値上げ前の駆け込み需要があったため、売上高は増加しました。利益面は、動物用医薬品等の仕入価格の上昇並びに販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は減少しました。

#### プロパティ事業

売上高1,024百万円(前年同期比0.4%減)、営業損失13百万円(前年同期は営業損失43百万円)

不動産部門において買取再販事業の売上が減少しましたが、ホスピタリティ部門において経済活動の正常化に伴い宴会や宿泊、ブライダルなどの利用客数が増加したことから、売上高は前年同期並みとなりました。利益面は、ホスピタリティ部門における利用客数の増加が寄与し、営業損失は縮小しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産は193,066百万円と、前連結会計年度末と比較して3,799百万円増加しました。これは主に、「有形固定資産」が2,326百万円増加したこと、「商品及び製品」が1,351百万円増加したこと、「受取手形、売掛金及び契約資産」が952百万円増加したことに対し、「現金及び預金」が1,166百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

負債は112,769百万円と、前連結会計年度末と比較して2,147百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が5,258百万円増加したことに対し、流動負債の「その他」が1,175百万円減少したこと、「賞与引当金」が1,060百万円減少したこと、「支払手形及び買掛金」が712百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産は80,297百万円と、前連結会計年度末と比較して1,651百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が1,079百万円増加(親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,937百万円増加、配当の実施により858百万円減少)したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年1月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,966	21,799
受取手形、売掛金及び契約資産	32,254	33,206
電子記録債権	1,834	1,669
商品及び製品	13,988	15,339
仕掛品	7,477	7,353
原材料及び貯蔵品	444	609
その他	5,970	5,898
貸倒引当金	△186	△180
流動資産合計	84,750	85,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,306	20,168
機械装置及び運搬具(純額)	7,141	7,096
導管(純額)	14,848	15,580
土地	32,431	32,372
建設仮勘定	1,760	3,577
その他(純額)	1,418	1,437
有形固定資産合計	77,906	80,233
無形固定資産		
のれん	263	260
その他	2,553	2,638
無形固定資産合計	2,816	2,899
投資その他の資産		
投資有価証券	8,897	9,440
長期貸付金	2,412	2,218
退職給付に係る資産	2,221	2,234
繰延税金資産	3,848	3,420
その他	6,858	7,350
貸倒引当金	△444	△428
投資その他の資産合計	23,793	24,236
固定資産合計	104,517	107,369
資産合計	189,267	193,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,225	25,513
電子記録債務	4,379	4,328
短期借入金	8,579	13,838
1年内返済予定の長期借入金	7,273	7,686
未払法人税等	341	26
賞与引当金	2,582	1,521
役員賞与引当金	9	2
完成工事補償引当金	47	47
工事損失引当金	55	57
ポイント引当金	234	235
その他	10,670	9,494
流動負債合計	60,399	62,753
固定負債		
長期借入金	36,989	36,315
繰延税金負債	524	928
役員退職慰労引当金	165	165
株式報酬引当金	502	534
修繕引当金	125	131
退職給付に係る負債	8,668	8,705
その他	3,245	3,235
固定負債合計	50,221	50,015
負債合計	110,621	112,769
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,300	25,300
利益剰余金	42,326	43,405
自己株式	△1,383	△1,384
株主資本合計	74,267	75,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	1,281
繰延ヘッジ損益	442	703
退職給付に係る調整累計額	1,483	1,453
その他の包括利益累計額合計	2,911	3,438
非支配株主持分	1,466	1,512
純資産合計	78,645	80,297
負債純資産合計	189,267	193,066

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	64,154	59,166
売上原価	48,704	44,291
売上総利益	15,450	14,874
販売費及び一般管理費	12,445	12,333
営業利益	3,004	2,541
営業外収益		
受取利息	29	10
受取配当金	31	33
デリバティブ評価益	—	183
持分法による投資利益	24	87
その他	148	129
営業外収益合計	233	443
営業外費用		
支払利息	49	44
デリバティブ評価損	280	—
その他	14	40
営業外費用合計	344	84
経常利益	2,892	2,900
特別利益		
固定資産売却益	9	39
特別利益合計	9	39
特別損失		
固定資産除売却損	26	40
特別損失合計	26	40
税金等調整前四半期純利益	2,875	2,899
法人税、住民税及び事業税	159	274
法人税等調整額	728	636
法人税等合計	887	910
四半期純利益	1,987	1,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,951	1,937



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,987	1,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	296
繰延ヘッジ損益	△93	260
退職給付に係る調整額	△52	△29
その他の包括利益合計	△10	527
四半期包括利益	1,977	2,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,941	2,463
非支配株主に係る四半期包括利益	36	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	17,375	—	—	—	—
LPガス	8,631	—	—	—	—
電力	5,143	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	7,014	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	6,367	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	4,298	—
動物用医薬品	—	—	—	—	5,850
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	7,977	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	39,127	7,014	6,367	4,298	5,850
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,127	7,014	6,367	4,298	5,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	484	1,168	2	2	0
計	39,611	8,182	6,369	4,301	5,850
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,855	565	△342	△86	109

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	17,375	—	17,375	—	17,375
LPガス	—	8,631	—	8,631	—	8,631
電力	—	5,143	—	5,143	—	5,143
土木工事、建築工事、設備工事	—	7,014	—	7,014	—	7,014
住宅、建築資材	—	6,367	—	6,367	—	6,367
自動車販売・整備	—	4,298	—	4,298	—	4,298
動物用医薬品	—	5,850	—	5,850	—	5,850
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	1,028	1,028	—	1,028	—	1,028
その他	—	7,977	377	8,355	27	8,382
顧客との契約から生じる収益	1,028	63,686	377	64,064	27	64,091
その他の収益(注)4	—	—	63	63	—	63
外部顧客への売上高	1,028	63,686	441	64,127	27	64,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	1,782	446	2,228	△2,228	—
計	1,153	65,469	887	66,356	△2,201	64,154
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△43	3,057	22	3,080	△75	3,004

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△75百万円には、セグメント間取引消去281百万円、全社費用△357百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	12,742	—	—	—	—
LPガス	9,173	—	—	—	—
電力	3,951	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	6,828	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	7,239	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	3,718	—
動物用医薬品	—	—	—	—	6,183
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	7,816	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	33,682	6,828	7,239	3,718	6,183
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	33,682	6,828	7,239	3,718	6,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	520	1,114	1	3	0
計	34,203	7,943	7,241	3,721	6,183
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,415	625	△190	△191	22

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	12,742	—	12,742	—	12,742
LPガス	—	9,173	—	9,173	—	9,173
電力	—	3,951	—	3,951	—	3,951
土木工事、建築工事、設備工事	—	6,828	—	6,828	—	6,828
住宅、建築資材	—	7,239	—	7,239	—	7,239
自動車販売・整備	—	3,718	—	3,718	—	3,718
動物用医薬品	—	6,183	—	6,183	—	6,183
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	1,024	1,024	—	1,024	—	1,024
その他	—	7,816	398	8,214	34	8,248
顧客との契約から生じる収益	1,024	58,677	398	59,075	34	59,110
その他の収益(注)4	—	—	56	56	—	56
外部顧客への売上高	1,024	58,677	454	59,131	34	59,166
セグメント間の内部売上高又は振替高	126	1,766	464	2,231	△2,231	—
計	1,150	60,443	919	61,363	△2,196	59,166
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△13	2,667	26	2,694	△153	2,541

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△153百万円には、セグメント間取引消去253百万円、全社費用△406百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。